



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2022 4 月号

Vol.134

毎月1回発行(通巻134号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/>

第11回「全国医療経営士実践研究大会」大会テーマ決定!

大会テーマ

病院経営は新たなステージへ!

— 医療経営士の職域確立からはじまる人材革命 —

11月1日(火)から30日(水)までの1か月間
WEBオンデマンド配信をベースに開催!

第11回「全国医療経営士実践研究大会」の大会テーマが決定した。今大会は前回大会同様、WEBオンデマンド配信をベースに開催。11月1日(火)から30日(水)までの開催期間中は参加者の都合に合わせて好きな日時に視聴できる。全国の医療経営士が共に学び、考え、議論を交わすことで、実り多き大会となることを期待したい。

経営人材の職域確立と専門性の向上が急務

第11回全国大会の大会テーマが「病院経営は新たなステージへ!」医療経営士の職域確立からはじまる「人材革命」に決定した。

少子高齢化に伴い、人口減少が進んでいるなか、医療機関を取り巻く環境は厳しさを増している。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は国民生活や社会経済に甚大な被害をもたらし、今なお先行きが不透明な状況が続いている。各病院はさまざまな難題に直面しながらも時代の変化を先読みした対応を迫られており、まさに病院経営は新たなステージへ突入したと言えるだろう。

こうした状況下において、医師をはじめとした医療者が最大限のパフォーマンスを発揮できる環境をつくり、将来を見据えた戦略

を執行していくためには経営基盤の強化が急務であり、経営人材の育成・意識改革が欠かせない。「医事」「経営企画」「購買」「広報」「地域連携」など、さまざまな部門で活躍する医療経営士の職域を確立し、その専門性をより一層高めていくことが求められる。

今大会ではこのような観点から、医療経営士一人ひとりが自身の役割と使命を見つめ直す機会とすることを目指す。

WEBの特性を活かした多彩なプログラムを用意

今大会は前回大会同様、WEBオンデマンド配信をベースに開催される。開催期間は11月1日(火)から30日(水)までの1か月間。参加者は自身の都合に合わせて大会公式サイトにアクセスし、事前に撮影・収録された映像を視聴できる。大会プログラムは、大会

テーマに沿った有識者による基調講演、特別座談会、医療経営士による演題発表などを予定。ライブ配信や会場参加が可能なプログラムも検討中だ。詳細は決定次第、本紙や協会ホームページで情報提供していく。ぜひご期待いただきたい。

前大会の基調対談で登壇した厚生労働省参与の鈴木康裕氏(左)と当協会参与の真野俊樹氏。真野氏は大会運営委員長も務めた



賞金100万円! 第5回(2022年度)「医療経営に関する研究助成」

懸賞論文「日本医療経営実践賞」案件募集中

一般社団法人日本医療経営実践協会では、国民に安全な医療の提供を行う基盤を構築するために、医療および経営の研究と実践、現場感覚を備えた人材の育成、「民」主役の医療の確立に資することを目的とする「医療経営に関する研究助成」として、懸賞論文「日本医療経営実践賞」の案件を募集しています。

- 【募集内容】 医療経営に関する論文でテーマは自由とする
- 【対象者】 医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ
- 【懸賞金額】 優秀な論文を表彰し、最優秀賞には賞金100万円を授与する
- 【応募締切】 5月11日(水) ※当日消印有効
- 【申請方法・詳細】 必ず専用サイト(<http://www.jmmpa.jp/association/grant/>)をご確認ください
- 【審査・選考】 選考委員会において公正かつ慎重に審査し、採否を決定します

注目している改定項目、自院における対応は？

病院勤務の医療経営士が語る 2022年度診療報酬改定のポイント

2022年度診療報酬改定を受け、その対応に追われている医療経営士も多いことだろう。
医療経営士は今次改定をどのようにとらえ、どこに注目し、いかなる対策を進めようとしているのか。
病院勤務の医療経営士3人に改定のポイントをうかがった。

DXとICT化を積極的に進め 病院全体の業務を効率化する



小早川正樹氏

公益社団法人日本海員救済会
神戸救済会病院医事課副主任
医療経営士3級

今 回の診療報酬改定で最も注目した項目は、「二次性骨折予防継続管理料」です。急性期、回復期、外来と機能分担して二次性骨折を長期のスパンで予防するように誘導されていることが、画期的だと感じました。また、手術の緊急整備固定加算、緊急挿入加算の算定要件にも組み込まれており、診療報酬が有機的に結合していると感じました。

「二次性骨折予防継続管理料」については医事課整形外科担当者が医師や看護師を中心に多職種の協力を得て大腿骨地域連携パスを改定しています。他にも医事課の会計画面において、看護必要度に該当する項目に印をつけ、適切に看護必要度を測定できるようにしています。

今後は自部署(医事請求)だけでなく、病院全体の業務効率化を進め、院内全体で職種にかかわらず全職員が働きやすい職場をつくりたいと思っています。病院の安定的経営、運営が地域に安心、安全を提供できると考え、持続的成長ができるようにDX、ICT化を積極的に取り組んでいきます。

先を見据えた行動こそが 医療経営士の本分



嶺 孝雄氏

医療法人社団愛宝会
浜田山病院栄養科管理栄養士
医療経営士3級/栄養経営士

今 回新設された「入院時栄養管理体制加算」と「周術期栄養管理実施加算」に注目しています。前者は特定機能病院のみが対象ですが、実績を上げれば、いずれ一般病院まで対象が広がるでしょう。後者は専任の常勤の管理栄養士が配置されているなどの施設基準があります。どちらも日頃から行っている栄養管理の必要性が認められての評価だと思います。

当院では、「褥瘡対策の見直し」について経営層から実施するように指示が出ました。しかし、栄養科としては栄養管理計画を行っており、すでに褥瘡回診にも参加しています。先を見据えた行動が医療経営士の本分であり、こうした実績を報告して院内でのステータスを上げていきたいと思っています。

他部署が躊躇するような新しい取り組みがあれば、自ら買って出て実行し、信頼と実績を築いていきたいと思っています。現状維持は衰退です。よりよい組織をつくり、より働きやすい環境にするために自分はどう活動すべきか、変化を恐れず前向きに取り組んでいきたいと思っています。

感染対策の充実に向けて 地域の医療機関との連携を推進



吉村拓哉氏

社会医療法人名古屋記念財団
名古屋記念病院地域連携課
医療経営士2級

当 院は新型コロナウイルス感染症の受け入れを行っている協力医療機関であり、地域医療支援病院でもあるため、「感染対策向上加算1」と「指導強化加算」に注目しています。協力医療機関としてコロナ患者様を受け入れていくためには院内における感染対策の充実には欠かせず、地域との連携強化にも努めたいと思っています。

「指導強化加算」を算定するには、感染制御チームが1年間に4回以上、感染対策向上加算2、3または外来感染対策向上加算に係る届出を行った保険医療機関に訪問をして、院内感染対策に関する助言を行うことが求められています。そのため、私が所属している地域連携課としても地域の医療機関との調整役として協力していきたいと思っています。

今後も戦略的なマーケティング分析を行いながら当院の強みを活かせる地域連携に取り組んでいきます。患者様だけでなく、地域の医療機関からも「この疾患なら名古屋記念病院だ」と思ってもらえるようなブランド力の向上に注力していきます。

新年度からの研修教材として最適！ オンデマンド職員研修講座シリーズ

好評配信中！

日本ヘルスケア
経営学院
公開講座

新入職員研修 ミドルマネジャー研修 WEB講座

講座概要



● 講師
石井富美氏
(多摩大学医療・
介護ソリューション
研究所副所長)

【新入職員研修WEB講座(全6回)】

● 講義時間… 各回約20分
● 受講料… 各回 :1,100円
3回セット :2,750円
全6回セット :4,950円

【ミドルマネジャー研修WEB講座(I/II)】

● 講義時間… 講座I: 約120分/講座II: 約90分
● 受講料… 講座I: 7,150円/講座II: 5,500円/
I・IIセット:11,000円

※講義終了後に内容の理解度が測れる「確認テスト」付き ※受講料はすべて税込



【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局(日本医療企画内) ☎03-3553-2862 <https://hcmi-s.net/>

事務局 掲示板

懸賞論文「日本医療経営実践賞」案件募集中! 賞金100万円、応募締切は5月11日(水)

当協会では、第5回(2022年度)「医療経営に関する研究助成」として、懸賞論文「日本医療経営実践賞」の案件を募集しています。募集内容は医療経営に関する論文でテーマは自由。対象者は医療経営士および医療経営に携わる個人・グループです。応募論文は選考委員会において公正かつ慎重に審査し、最優秀賞には賞金100万円が授与されます。

応募締切は5月11日(水)、当日消印有効。医療経営士の皆様からたくさんのご応募をお待ちしています。

医療経営士の皆様へ 所属先の掲載ご協力をお願い

当協会ホームページでは、会員の皆様から掲載の同意をいただき、医療経営士が所属する医療機関・企業名を公開しています。

医療機関の抱えるさまざまな経営課題を迅速かつ確に解決できる能力を有する医療経営士の所属先を公開することで、経営力を持った医療機関であることを、医療機関の経営を支援できる人材が所属する企業であることをアピールできます。

掲載の同意をいただける方は、下記URLまたはQRコードからご登録ください。

【ご登録はこちらから】

<http://www.jmmpa.jp/support/cat108/>



TOPICS

「医療・介護・栄養のアドバイザーバンク」 プレミアムアドバイザーに2人が登録!

ヘルスケア分野の経営・マネジメントに関する情報を提供するサイト「ヘルスケア・マネジメント.com」では、「登録アドバイザー制度」にご登録いただける医療経営士の方を募集している。

登録アドバイザー制度では、医療経営士・介護福祉経営士・栄養経営士などの経営人材が、これまでのキャリアで得た豊富なスキル・知識をより広く活かしていただくことを目的に、登録者の基本データを「医療・介護・栄養のアドバイザーバンク」として公開。セミナー講師や相談相手を探している病院・医療関連企業などに閲覧・利用してもらう。

基本データには、氏名、所有資格、得意分野、できること(相談対応、勉強会・セミナー講師、原稿執筆)、連絡先などがあり、登録は無料。より詳しい情報を掲載できる「プレミアムアドバイザー(有料)」には4月11日(月)現在、各務克郎氏、小幡敏之氏(ともに介護福祉経営士1級)が登録している。登録方法などの詳細は「ヘルスケア・マネジメント.com」をご確認いただきたい。



「医療・介護・栄養のアドバイザーバンク」のトップ画面。各種条件からアドバイザーを検索できる。



日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
4月28日(木)	東海	第13回医療経営士キャリア・イノベーション研究会愛知 「人を動かす一戦略を実行するための行動」	佐藤公治氏(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院院長) 福田徹氏(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院救急科) 渡辺徹氏(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院事務部長)
5月14日(土)	関西	“イチ”からわかる介護経営オンライン塾 第2回(全5回)	古林靖久氏(有限責任監査法人トーマツ) 熊田圭祐氏(有限責任監査法人トーマツ)
5月20日(金)	関東	第37回神奈川研究会 「施設基準について～施設基準管理担当者の育成事例～(仮)」	金城悠貴氏(社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会横浜市東部病院医事企画室長)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

膨大な資料から重要ポイントを的確に抽出! 22年度改定が90分でマスターできる

日本ヘルスケア
経営学院
公開講座

2022年度診療報酬改定 重要ポイント徹底解説

好評
配信中!

講座概要



●講師
小松大介氏
(株式会社メディヴァ
取締役)

- 受講料: 4,400円(税込)
- 講義時間: 約95分
(病院編約55分、診療所編約40分)
- 配信期間: 2022年6月30日まで

- 講座のポイント
- ①2月9日の答申に基づく最新情報!
- ②視聴期間内は何度でも見られる!
- ③小松先生の資料ダウンロード可!



【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局(日本医療企画) ☎03-3553-2862 <https://hcmi-s.net/>

第35回「医療経営士3級」資格認定試験 結果詳報

1,097人が受験、新たに413人の合格者が誕生!

一般社団法人日本医療経営実践協会は、2月27日(日)、第35回「医療経営士3級」資格認定試験を全国26会場で実施し、1,097人が受験、413人が合格した。
 今回の試験で、3級試験の合格者累計が2万2,000人を突破し、2万2,001人となった。
 結果詳細について報告する。

3級合格者、累計2万2000人を突破! 3級受験申込者は、累計5万7000人を超える

●結果概要(表1)

受験申込者数12,555人(振替申込者1人を含む)のうち1,097人が受験(受験率87.4%)し、413人が合格した(合格率37.6%)。

この結果、累計受験申込者数は5万7,459人、累計受験者数は5万1,119人、累計合格者数は2万2,001人となった。

●年代別構成(表2)

受験者数・合格者数ともに「30歳以上39歳以下」が最多、「40歳以上49歳以下」が続く。

合格率では「30歳以上39歳以下」が43.9%と突出して高く、全体の合格率(37.6%)を6.3ポイント上回った。次いで「60歳以上」が37.5%、「29歳以下」が36.3%と続いた。「60歳以上」は、受験者数は8人と最少であったが、そのうち3人が合格したことから、高い合格率を記録した。受験者数・合格者数が2番目に多かった「40歳以上49歳以下」の合格率は33.2%だった。

●勤務先別構成(表3)

受験者数・合格者数ともに「病医院」が最多、その後「医薬品製造・卸売」が続く。

一方、合格率では「医療機器製造・販売」が44.2%と際立って高く、その後「医薬品製造・卸売」が続いた。「医療機器製造・販売」は、受験者数は全体の3.9%と少なかったが、合格率の高さで存在感を示した。「病医院」の合格率は39.6%で、全体の合格率(37.6%)をわずかに上回った。

●都道府県別構成

受験者数・合格者数ともに東京都が最多(受験者数1,988人、合格者数73人)。受験者数で東京都に続いたのは大阪府(93人)と神奈川県(92人)。合格者数ではこの順番が逆転し、神奈川県(42人)、大阪府(31人)となった。

2022年度の試験日程は下記の通り。昨年度同様、3級試験3回、2級試験2回、1級試験1回の実施予定だ。多くの方々の挑戦をお待ちしている。

【表1】第35回3級試験および過去試験累計 結果概要

	第35回試験	第1~35回試験累計
申込者数	1,255人 (振替申込者1人を含む)	57,459人
受験者数	1,097人	51,119人
合格者数	413人	22,001人
合格率	37.6%	43.0%

【表2】受験者・合格者 年代別構成

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	248人(22.6%)	90人(21.8%)	36.3%
30歳以上39歳以下	385人(35.1%)	169人(40.9%)	43.9%
40歳以上49歳以下	301人(27.4%)	100人(24.2%)	33.2%
50歳以上59歳以下	155人(14.1%)	51人(12.3%)	32.9%
60歳以上	8人(0.7%)	3人(0.7%)	37.5%

【表3】受験者・合格者 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	278人(25.3%)	110人(26.6%)	39.6%
医療関連企業	252人(23.0%)	90人(21.8%)	35.7%
医薬品製造・卸売	256人(23.3%)	104人(25.2%)	40.6%
医療機器製造・販売	43人(3.9%)	19人(4.6%)	44.2%
金融機関	143人(13.0%)	51人(12.3%)	35.7%
大学生・短大生	26人(2.4%)	5人(1.2%)	19.2%
その他(個人等)	99人(9.0%)	34人(8.2%)	34.3%

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
 ※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

2022年度 資格認定試験日程

■医療経営士3級	【第36回】	6月12日(日)
	【第37回】	10月16日(日)
	【第38回】	2023年2月26日(日)
■医療経営士2級	【第23回】	6月12日(日)
	【第24回】	10月16日(日)
■医療経営士1級	【第10回】	第一次試験 9月4日(日) 第二次試験 12月4日(日)

医療経営士 3級 2級 資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日	6月12日
2022年	
受験エントリー期間	4月4日(月)~4月25日(月)
受験料支払締切日	4月26日(火)

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください。

	第36回「医療経営士3級」	第23回「医療経営士2級」
受験料 ※手数料別途	9,100円(税込)	16,000円(税込) 両分野受験者 14,000円(税込) 分野受験者 (分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、本協会正会員
試験会場	札幌・盛岡・仙台・さいたま・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・那覇	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめて申し込みできます。
 ◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります。

受験エントリー
4月25日 日まで!!
 同僚やお知り合いの方に
 ご紹介ください